

みずほCustomer Desk Report 2023/08/29号 (As of 2023/08/28)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	146.52 AUD/USD
TKY 9:00AM	146.54	1.0797	158.31	1.2588	0.6416
SYD-NY High	146.75	1.0822	158.57	1.2609	0.6440
SYD-NY Low	146.28	1.0794	158.20	1.2568	0.6403
NY 5:00 PM	146.54	1.0819	158.53	1.2599	0.6430
	終値	(前日比)	終値	(前日比)	
NY DOW	34,559.98	213.08	日本2年債	▲0.0005%	▲0.0105%
NASDAQ	13,705.13	114.48	日本10年債	0.6600%	0.0100%
S&P	4,433.31	27.60	米国2年債	5.0512%	▲0.0256%
日経平均	32,169.99	545.71	米国5年債	4.4052%	▲0.0295%
TOPIX	2,299.81	33.41	米国10年債	4.2049%	▲0.0256%
シカゴ日経先物	32,290.00	430.00	独10年債	2.5645%	0.0085%
ロンドンFT	-	-	英10年債	-	-
DAX	15,792.61	160.79	豪10年債	4.1640%	▲0.0140%
ハンセン指数	18,130.74	174.36	USDJPY 1M Vol	9.10%	▲0.26%
上海総合	3,098.64	34.56	USDJPY 3M Vol	9.03%	▲0.25%
NY金	1,946.80	6.90	USDJPY 6M Vol	9.10%	▲0.19%
WTI	80.10	0.27	USDJPY 1M 25RR	▲0.82%	Yen Call Over
CRB指数	278.64	0.44	EURJPY 3M Vol	9.23%	▲0.28%
ドルインデックス	104.06	▲0.02	EURJPY 6M Vol	9.45%	▲0.18%

【昨日の指標等】

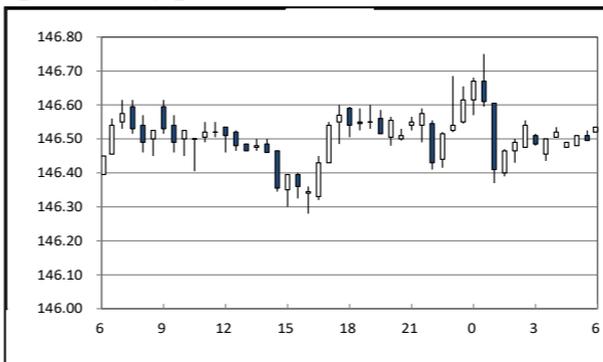
Date	Time	Event	結果	予想
8月28日	10:30	豪 小売売上高(前月比)	7月 0.5%	0.3%

【本日の予定】

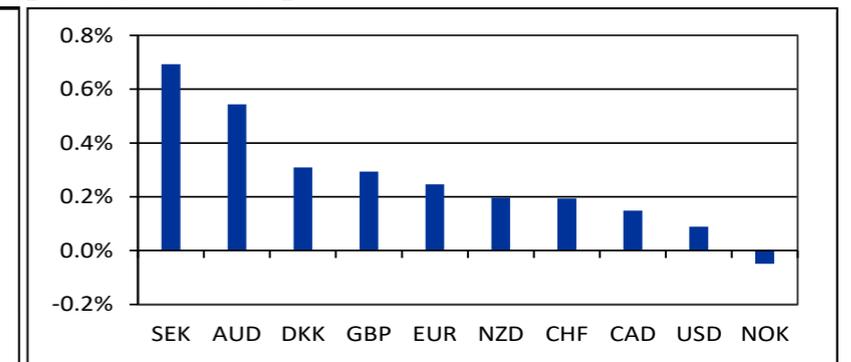
Date	Time	Event	予想	前回
8月29日	08:30	日 失業率	7月 2.5%	2.5%
	22:00	米 FHFA住宅価格指数(前月比)	6月 0.6%	0.7%
	23:00	米 JOLT求人	7月 9500K	9582K
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	8月 116.0	117.0

東京	東京時間のドル円は146.54レベルでオープン。目新しい材料がなく全体的に取引が閑散となる中、年初来高値近辺でしばらく推移するも、146.57を高値にその後は徐々に値を下げ、午後には一時146.30まで下落。その水準では下げ渋ると、引けにかけてやや値を戻し、146.36レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	休場
ニューヨーク	海外市場のドル円は146円台半ばでスタート。アジア時間では、中国当局による株式取引印紙税の引き下げ政策が発表された事を背景に、中国株高から円売りが優勢となり、146.57まで上昇する。しかし、その後米長期金利が低下する動きが重しとなり、146.28まで値を下げる。売り一巡後は、低下していた米長期金利が再度上昇する動きにつられ反発し、146.54レベルでNYオープン。この日は特段注目の経済指標発表が無い中、米金利の動向につられる展開となる。午前中は米金利が高水準で推移する展開を横目に、146.75まで上げ幅を拡大し、連日の年初来高値を更新。その後、米2年債の好調な入札結果を受け伸び悩み、146.37まで反落する。午後は146.50付近を挟んだ方向感乏しい値動きが続き、146.54レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07台後半でスタート。じり高での推移が続き、1.0822まで上昇する。その後、1.0800まで下落するも、ホルツマン・オーストリア中銀総裁が「大きなサプライズがなければ、一時停止することなく利上げを続けるべきだと考えている」との見方が下支え、1.0805レベルでNYオープン。この日はロンドン市場が休場の中、1.0810近辺を挟んだ動き乏しい動きが続いた。午後とも値幅が限定的な展開となり、1.0810近辺でもみ合いが続き、1.0819レベルでクローズ。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	145.90-147.00	1.0700-1.0900	157.80-159.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は146円台半ばでオープン後、特段材料ない中、年初来高値圏での売りが先行しじり安となったが、海外時間に入り反発。ロンドン休日ということもあり146円半ばまで戻すと、上値重く推移。その後NY時間に入ると、ジャクソンホールを消化した安心感やアジア株の堅調な推移が好感され、米株も底堅く推移。また米金利の上昇も相俟って直近高値146.64を上抜けて146.75まで上昇。一巡後は米金利の低下を眺めながら、ドル円もやや下押しされると結局146.50付近でクローズした。米金利は下押ししたとはいえ、2年は5%台を維持し高値圏を推移。本邦の長期金利も0.6%台を推移しているが、本格的な政策転換への期待が後退している中、引き続きドル買い/円売りの両輪が揃っており、ドル円は底堅い推移を見込む。足許、直近高値を更新する場面が増え、本邦の介入への警戒感や、本日以降発表されてくる米指標の結果次第では、短期的な調整が入る可能性もあるが、ドル円を下落トレンドへと転換させるほどの影響力はないと考える。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 逸見・西